

口頭発表演題

会場：小ホール

9:00 開場

9:25～9:30 開会の辞

9:30～12:14 一般講演 1

O-1 9:30～9:43 YIA

DSS 誘発大腸炎モデルマウスに対する緑茶カテキンの逆作用機序の解明

井上博文¹、秋山聡子¹、根角厚司²、山本(前田)万里²、斎藤猛³、田中卓二⁴、村上 明¹

¹京大・農・食生科、²農研機構・野菜茶研、³アサヒビール・食基盤研、

⁴東海細胞研究所

O-2 9:43～9:56 YIA

フラボン類の感受性制御遺伝子の同定

山下修矢¹、山田耕路¹、立花宏文^{1,2,3}

¹九大院・農院・生機科、²九大・バイオアーク、³九大・レドックスナビ

O-3 9:56～10:09 YIA

ヒト由来 UGT および UDPGH 発現酵母を用いたケルセチングルクロン酸抱合体の生産

増山優香、安田佳織、鎌倉昌樹、榊利之、生城真一

富山県大・工・生物工学

O-4 10:09～10:22 YIA

ヒトにおける共役リノール酸の吸収代謝

佐藤謙太、都築 毅、池田郁男

東北大院・農・生体分子機能

O-5 10:22～10:35 YIA

ビタミン E および関連化合物の硫酸抱合代謝

橋口拓勇¹、黒木勝久¹、榊原陽一¹、安田伸²、Ming-Cheh,Liu³、水光正仁¹

¹宮崎大・農・応生、²東海大・農・バイオ、³トレド大・薬

O-6 10:35～10:48 YIA

ピロロキノリンキノン (PQQ) による上皮細胞増殖促進機構の解析

木村 一城¹、高田 真由美¹、石井 剛志²、内藤 健太郎³、赤川 貢¹

¹大阪府大院・生命環境、²静岡県大・生活健康、³(株)DHC

休憩(8分)

O-7 10:56~11:09 YIA

共役二重結合をもつ脂肪酸の腫瘍血管新生抑制とその作用機構

都築 毅、池田郁男

東北大院・農・生体分子機能

O-8 11:09~11:22 YIA

植物種子中の共役トリエン型脂肪酸の殺癌細胞効果

篠原菜穂子、都築 毅、池田郁男

東北大院・農・生体分子機能

O-9 11:22~11:35 YIA

**ガーリック香気成分 diallyl trisulfide の強いがん細胞増殖抑制活性は、
システインとの反応性に起因する**

細野 崇、関 泰一郎、有賀豊彦

日本大学・生物資源科学部・生命化学科

O-10 11:35~11:48 YIA

**ホスホジエステラーゼ V 阻害剤は EGCG/67LR シグナル伝達経路を
増強することで EGCG の多発性骨髄腫に対する細胞致死作用を促進する**

熊添基文¹、杉原香織¹、塚本俊太郎¹、鶴留ゆかり¹、黄宇慧¹、山田耕路¹、
立花宏文^{1,2,3}

¹九大院・農院・生機科、²九大・バイオアーク、³九大・レドックスナビ

O-11 11:48~12:01 YIA

緑茶カテキン受容体 67LR による EGCG の二面性制御機構

塚本俊太郎¹、山田耕路¹、立花宏文^{1,2,3}

¹九大院・農院・生機科、²九大・バイオアーク、³九大・レドックスナビ

O-12 12:01~12:14

**フコース添加によるフコシル化の変化は、癌の種類によって特徴的な調節を
される**

今井 拓、森脇健太、中山小太郎純友、新崎信一郎、三善英知

阪大院・医・機能診断科学

12:14 評議員会、昼食

13:00 総会

13:30~14:30 一般講演(ポスター発表 YIA エントリー: P-1~P-17 (P-14 除く))

14:30~17:40 一般講演 2 (発表 10 分+質疑 3 分)

O-13 14:30~14:43 YIA

腸管上皮 IL-8 産生に対するクロロゲン酸及びコーヒー酸の抑制作用機構の解析

申 喜淳、薩 秀夫、戸塚 護、清水 誠
東大院・農生科・応生化

O-14 14:43~14:56 YIA

パプリカカロテノイドによる脂肪細胞でのアディポサイトカイン分泌調節作用

前多隼人¹、阿部美菜子¹、斎藤修一¹、片方陽太郎¹、細川雅史²、宮下和夫²
¹弘前大学・農学生命科学部、²北大院・水産科学研究院

O-15 14:56~15:09 YIA

ポリメキシフラボノイドであるノビレチンの細胞分化調節作用を介したアディポネクチン産生促進および血管新生抑制効果

国政和宏¹、太田敏郎²、家森幸男¹、池田恵³、倉貫早智³、及川勉³
¹武庫川女大・国際健康開発研、²静岡県立大・生活健康、³神奈川県立保健福祉大・栄養

O-16 15:09~15:22 YIA

閉経後骨粗鬆症モデルマウスの骨量減少に対する S 体およびラセミ体 equol の効果の差異

君羅好史¹、勝間田真一¹、石見佳子²、上野友美³、内山成人³、鈴木和春¹、上原万里子¹
¹東農大・応生・栄養、²国立健康・栄養研・食品保健機能、³大塚製薬(株)・佐賀栄養製品研

O-17 15:22~15:35 YIA

マウス動脈硬化症発症に対するカテキンおよびカフェインの効果

高 穎、茶山和敏
静岡大・院・農

O-18 15:35~15:48

***In vivo* 生体顕微鏡による直接観察法を用いたプロシアニジンの微小循環改善作用の検討**

越阪部奈緒美、柴田政廣
芝浦工大・システム理工・生命科学

O-19 15:48~16:01

β-クリプトキサンチンの食餌性高尿酸血症抑制作用

高柳勝彦、木村夏美、白倉義之、向井克之
ユニチカ株式会社 中央研究所

休憩(8分)

O-20 16:09~16:22

タンパク質シャペロンに着眼した Xenohormesis の検証

村上 明¹、中畑恵利奈¹、大西康太¹、松本晋也²

¹京大院大・農・食品生物、²京女大・家政・食物栄養

O-21 16:22~16:35

パン酵母由来 α -グルカンの炎症抑制作用

許 小娟¹、保田倫子²、水野雅史¹、芦田 均¹

¹神戸大院・農・生命機能科学、²神戸大院・自然科学

O-22 16:35~16:48

α -リポ酸の血中運搬に関与する血清タンパク質の探索

宮嶋孝太、石井剛志、中山 勉

静岡県大・食品栄養

O-23 16:48~17:01

ヘスペレチンとその乳化物の生体吸収性評価と血漿代謝産物の同定

宅見央子¹、中村弘康¹、石坂朱里²、釜阪 寛¹、河合慶親²、室田佳恵子³、米谷俊¹、栗木 隆¹、寺尾純二²

¹江崎グリコ(株)・健康研、²徳島大学院・ヘルスバイオサイエンス研・食品機能学、³近畿大・理工・生命科学

O-24 17:01~17:14

SchB による DNA 損傷チェックポイントを介した重粒子線ガン治療増感

舘脇直人¹、西田浩志¹、中山-川上賀代子¹、江口-笠井清美²、安西和紀^{2,3}、小西徹也¹

¹新潟薬科大学、²放射線医学総合研究所、³日本薬科大学

O-25 17:14~17:27

γ -トコリエノールの抗腫瘍活性発現を担う Hic2 の解析

隅田崇文¹、青山夏希¹、山田耕路¹、立花宏文^{1,2,3}

¹九大院・農院・生機科、²九大・バイオアーク、³九大・レドックスナビ

O-26 17:27~17:40

δ -トコリエノールのがん増殖因子抑制効果

松下讓¹、和田小依里¹、内藤裕二²、吉川敏一²

¹京都府立大学、²京都府立医科大学